



# 新工SPH通信

VOL.62

新潟県立新潟工業高等学校  
SPH推進委員会  
平成30年9月10日  
Community cooperation

平成30年9月4日（火）、マレーシアのテイラーズインターナショナルスクールの生徒さんたち24名と引率の先生方3名が来校しました。テイラーズインターナショナルスクールは、平成29年と平成30年の夏、東アジア高校生海外研修（工業部会）がマレーシアで行われた際、現地で研修参加生徒が訪問した学校です。



## 【交流の内容】

9月3日（月）放課後

- ホームビジット 本校生徒の自宅を訪問

9月4日（火）本校にて

- 交流会 それぞれの学校代表あいさつ、自己紹介、学校紹介など
- 学校見学 英語会話の授業、各科の実習の様子などを見学
- ものづくり体験 ペーパークラフト作り
- 部活動体験 柔道・空手・少林寺などの体験、見学

## 【本校生徒の感想（アンケートから）】

- 私は英語で新潟工業高校のSPH事業の説明をしました。マレーシアの方々が、日本に来ることをとても楽しみに思ってくれていたのがとても嬉しかったです。
- 僕は英語で電気科の紹介と、新潟工業高校の教育目標などを説明しました。今回の交流を通して、外国人とのコミュニケーションの難しさを学びました。自分の英語力のなさを痛感しました。
- 僕は英語でテイラーズインターナショナルスクールについて質問したり、マレーシアの生徒からの質問に積極的に答えました。マレーシアの生徒がとてもフレンドリーに接してくれたのでとても嬉しかったです。
- 僕は小グループでマレーシアの文化や食について教えてもらったり、個人的な趣味を聞いたりしました。2ヶ月しか日本語を勉強していないということだったので、自分たちは5年学んでいる英語を話せないことから、意識の甘さを感じました。
- 僕は柔道部の部長として、技を一つ体験してもらいました。とても上手に投げていたので、自分たちも習ったらすぐにできるようがんばりたいと思いました。
- ホームビジットでマレーシアからの生徒が自宅を訪問した際、日本の食べ物や生活を紹介した。マレーシアでも日本の文化が人気だと感じた。異文化に触れられて、とても新鮮だった。

## 【生徒の変容と身についた力】

- 英語力の低さからもどかしさを感じながらも、海外からの同世代の人々との交流はとても楽しい体験になったようである。英語学習への意欲が高まり、異文化コミュニケーションの楽しさを知ることができた。